令和８年度カリキュラム概要

和歌山県立医科大学医学部は、医師及び医学研究者としての幅広い教養、柔軟な思考力と創造性、豊かな人間性、高邁な倫理観を涵養し、基礎および臨床医学における高度で専門的かつ総合的な能力の修得を目指しています。そして、良好な患者 - 医師関係を築くためのコミュニケーション能力とリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療・健康福祉の向上に寄与し、国際的にも活躍できる人材を育成することを教育目標としています。本学では学修成果基盤型教育を実施し、ディプロマポリシーと整合性をとった形で、カリキュラムポリシーを作成し、これに連動した卒業時コンピテンスと下位目標であるコンピテンシーを公開し、講義内容を設定しています。2025 年 8 月に日本医学教育評価機構により本学の医学教育が、医学教育分野別評価基準に適合していることが再認定されました。

令和 8 年度入学生からカリキュラムが改変されます。学生が低学年から医学・医療に触れ合う機会として、1 年次の地域での臨床体験実習に加え、保健看護学部・薬学部の学生とともに、患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育は、従来通り 1 年次に実施します。①医師として必要な研究マインドの涵養 ②臨床能力に繋がる基礎医学の知識および問題解決能力の獲得 ③基礎医学者を目指す学生の育成を目的とした基礎配属も 3 年次に設定しています。新カリキュラムでは、1 年次の 9 月から基礎医学の講義を開講し、これまで 2 年次に実施していた生化学・細胞生物学実習と骨学実習を 1 年次から実施します。さらに、基礎医学は 2 年次で終了し、3 年次から臨床医学を学びます。共用試験実施評価機構が実施する CBT および臨床実習前 OSCE は 4 年次の夏期休業後に実施する予定です。患者さんのご協力のもとで行う臨床実習に参加するためには、これらの共用試験に合格し、臨床実習生（医学）の認定を受けることが必要です。臨床実習は、選択制の期間の 18 週間を含め、62 週間実施しますが、実習開始前には総合講義・実習を、終了後には総括実習を実施し、臨床実習の内容の充実をはかります。

医学教育は学部教育の 6 年間で修了するものではなく、生涯を通じて、自己研鑽する能力を在学中に身につけることが必要です。できるだけ、学修の機会を利用し自分自身で学ぶ習慣を身につけてください。特に、低学年では、高校時代の受け身の学習態度を改め、医学生としての学習スタイルに変更する事が必要です。また、将来の医学領域の国際化を踏まえ、早期から語学能力を高める努力を行ってください。教育要項は、教育の理念・方針を示すものです。内容を熟読し、その目的を理解することが重要です。医学部教育は、成人型教育、能動教育に移行してきています。自ら積極的に学ぶ者には、修学の機会は増えますが、そうでない学生は修学の機会を逃すことになり、最終的には学生間の能力の差が拡大します。

医学の世界は、卒前・卒後医学教育、専門医制度、医療制度など多くの変革の時期を迎えています。真の医学者になるために、個々人がしっかりと自分の目標を定め、その目標に向かって邁進してください。